

宝積寺歴

宝積寺は、弘安三年（一二八〇）頃には、すでに天台宗の寺として栄えていました。その後、宝徳二年（一四五〇）に、領主の小幡美高候が中興開基となり、茨城県東昌寺の即庵宗覚禅師を請いて曹洞宗として再興されました。

小幡氏が滅ぶと、元和二年（一六一六）に、織田信長の孫・織田信良候が小幡藩主となり、菩提寺を宝積寺と定めました。

近年まで、厳しい修行道場として栄え、全国から多くの修行僧が集まり、永平寺・總持寺の両大本山へも多くの禅師が昇住しています。末寺は四六ヶ寺、門葉は一二〇余ヶ寺を数えます。

お菊さま伝説

国峰城主小幡信貞候の腰元に、美しく聡明なお菊さまという女性がいました。信貞候はお菊さまを寵愛し、片時も自分のそばから離そうとせませんでした。

奥方様や他の腰元たちの嫉妬心は日に日に増し、信貞候留守中に、あい図らってお菊さまを無実の罪に陥れ、菊が池で蛇責めの刑に処してしまいました。お菊さま十九歳、天正十四年（一五八六）のことです。

その後、追善の供養が度々行われ、その美しい姿は境内の観音様として多くの人々に慕われています。この伝説は、「番町皿屋敷」の源流伝説でもあります。

【年間行事】

1月1日	修証会
1月13日	開山忌
2月中旬～3月中旬	福寿草見ごろ
3月	春彼岸会
4月上旬～中旬	宝積寺のしだれ桜見ごろ
4月29日	菊女観音祭・先祖祭
6月中旬～7月上旬	アジサイ見ごろ
夏休み	子ども禅の集い
8月13日	万燈会
9月	秋彼岸会
11月中旬～下旬	大イチョウ・モミジ見ごろ

宝積寺道路案内図



●墓地相談お受けします。
 霊園、永代供養等もお気軽にお問い合わせください。

そうとうしゅう じゅれいざん ほうしゃくじ
 曹洞宗 鷲翎山 寶積寺

〒370-2203 群馬県甘楽郡甘楽町轟 774
 TEL.0274-74-2743 FAX.0274-74-3024

■作成協力 羽鳥小慧・飯野文江・柴山潤壺・斎藤兎生



鷲翎山 寶積寺

Housyaku-ji



巡礼霊場札所

- 小幡七福神布袋尊
- 上州観音霊場第19番
- 東国花の寺百ヶ寺群馬第4番
- ふれあい観音第51番

人気者の仏さまたち

なむなむ子宝地藏・のんのん子育て地藏



のんのん子育て地藏

なむなむ子宝地藏

子宝に恵まれない人は「なむなむ子宝地藏さま」を、子供の成長を祈る人は「のんのん子育て地藏尊さま」にお参り下さい。

みがわり地藏

人々は地藏を削りこの石を飲み病気を癒したと言い伝えられています。現在では「身替地藏札」を希望者にお分けしています。



カイコの仏さま



国峰城主・小幡氏墓所の並びに「カイコの仏さま」が祀られています。世界遺産・富岡製糸の工女さんもお参りし、恋愛成就・商売繁盛などをお祈りしました。

なでほてい

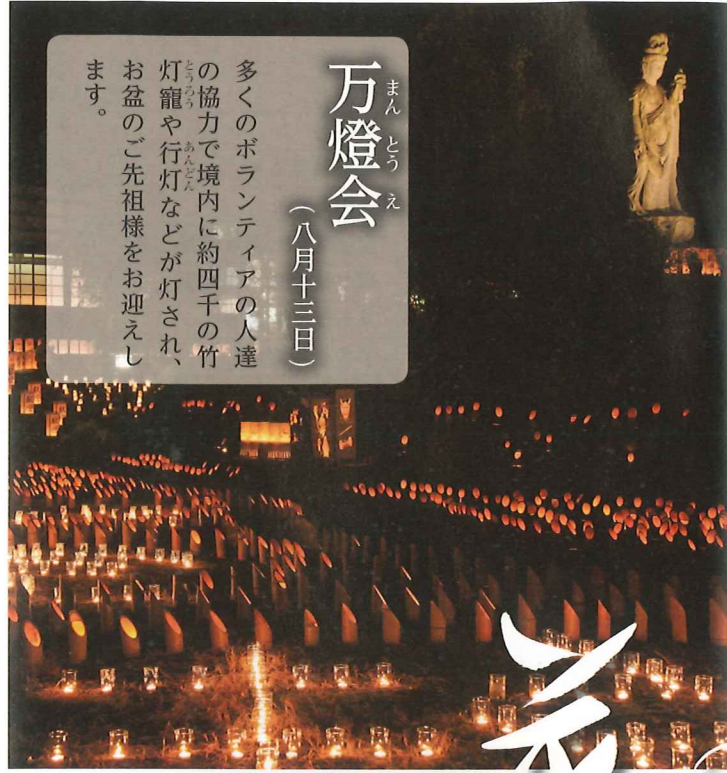
小幡七福神のほていさま。ふくよかな耳で人々の願いを聞き、笑顔で温かく迎えてくれます。頭をなでながらお参り下さい。



万燈会

(八月十三日)

多くのボランティアの人達の協力で境内に約四千の竹灯籠や行灯などが灯され、お盆のご先祖様をお迎えします。



花の寺

大イチヨウ・モミジ

(十一月中旬～下旬)

甘楽町名木の大イチヨウの樹高は約三五メートル。周辺には約三〇〇本のモミジが赤く色づきます。



宝積寺のしだれ桜

(四月上旬～中旬)

鮮やかなピンク色が特徴で、開花時期にはライトアップがされます。周辺には約二〇〇本の様々な桜が咲き競います。



アジサイ

(六月中旬～七月上旬)

約30種類約一五〇〇株が植えられています。梅雨の時期には多くの参拝者やカメラマンで賑わいます。

